

■ 2020年度 入試問題分析シート ■

名古屋大学

前期日程

科目	数学(理系)
----	--------

総括

試験時間	150分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
		分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

昨年と同じ大問4題で、いずれも標準以上である。

〈特記事項・トピックス〉

③数Ⅲ微積分の問題は例年計算量が多く、煩雑であるが、今年は思考力を問われる問題が出題された。

〈合格への学習対策〉

日常の学習において、大型の問題についても最後まで取り組み、答えを導く習慣をつけておく。
また、やや難しい問題でも自分で考え方を組み立てて解答を進めていくように練習する。

設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
1	記述	Ⅱ, Ⅲ	2次曲線 図形と方程式 微分	(1) は2次方程式の解の存在範囲の問題 (2) $\triangle APQ$ の面積は距離公式またはベクトルの面積公式を利用する。	標準
2	記述	A	整数の性質	3つの素数を $x+y$ と x^2+2y^2+2xy に振り分ける。	標準
3	記述	Ⅲ	微分・積分	(1) $f'(x)$ が増加することから、 $F'(x) < 0$ であることに気づくかどうか。 (2) (1)から $0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$ において、 $F(x)\cos x \geq 0$ であることを利用する。	やや難
4	記述	A, B	確率と漸化式 不等式の証明	状態を表す2変数を導入し連立の漸化式を立てる。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。